

平成30(2018)年度 東京大学大学院情報理工学系研究科 修士課程学生募集要項

教育研究上の目的

本研究科は、情報理工学の体系的知識を身につけ科学的手法を追究して情報科学技術に関わる研究や開発を主導することのできる人材を養成し、情報理工学の発展に貢献することを目的とする。

求める学生像

情報理工学に関する基礎力を持ち、国際的な場での活躍に必要な素養を備え、未踏の課題を解決し、未来を切り拓く強い意欲を持つ人。

1. 出願資格

- (1) 日本の大学を卒業した者及び平成30(2018)年3月31日までに卒業見込みの者(注1)
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30(2018)年3月31日までに修了見込みの者(注2)
- (3) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30(2018)年3月31日までに授与される見込みの者(注2)
- (4) 文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者及び平成30(2018)年3月31日までに修了見込みの者(注3)
- (5) 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者及び平成30(2018)年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 個別の入学資格審査をもって、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、平成30(2018)年3月31日において22歳に達しているもの(注1)(注4)

(注1) 上記(1)、(6)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注2) 上記(2)、(3)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) 上記(4)に該当する者とは、次の学校又は教育施設の卒業者(修了者)等を示す。

- ・ 文部科学大臣の指定する外国学校日本校
- ・ 文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)
- ・ 旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校

(注4) ① 上記(6)に該当する者とは、上記(1)から(5)に該当しない者のうち、4年制の大学に相当する教育施設の卒業者(修了者)等で、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者を示す。

② 上記(6)の資格により出願しようとする者については、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、本研究科の指定する書類を、夏入試は平成29(2017)年6月9日(金)まで、冬入試は平成29(2017)

年11月17日(金)までに本研究科入試担当(下記5.(3))に提出すること。提出書類等については、事前に問い合わせること。

③入学資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

2. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び提出書類を総合的に判定し選抜する。

(注)外国人出願者は、専攻により選抜方法が異なる場合があるので、あらかじめ受験を希望する専攻事務室に問い合わせること。

3. 試験期日及び場所

(1)入学試験は、夏入試と冬入試の年2回行う。

夏入試は、コンピュータ科学、数理情報学、システム情報学、電子情報学、知能機械情報学、創造情報学の各専攻で行う。

冬入試は、コンピュータ科学、電子情報学専攻及び創造情報学専攻で行う。

(2)夏入試は、平成29(2017)年8月21日(月)から8月28日(月)の間で行う。その時間割及び試験会場については各専攻の入試案内書を参照すること。

(3)冬入試は、平成30(2018)年1月下旬から2月中旬の間に行う。その時間割及び試験会場については、コンピュータ科学、電子情報学専攻及び創造情報学専攻の入試案内書を参照すること。

4. 専攻別試験科目及び募集人員

以下の表は、夏入試の試験科目等を示すものである。

試験科目の詳細については、夏入試・冬入試とも、必ず、各専攻の入試案内書で確認すること。

専攻名	筆記試験科目			口述試験	募集人員
	一般教育科目	外国語	専門科目		
コンピュータ科学	数学 情報理工学全般に必要な数学の基礎力を問うための①線形代数、②解析(微分積分、常微分方程式など)、③確率・統計の3分野から出題された3問に解答する。	英語 TOEFLの成績を利用する。 筆記試験は行わない。	コンピュータ科学	コンピュータ科学	27名
数理情報学			数理情報学	数理情報学	25名
システム情報学			システム情報学	システム情報学	25名
電子情報学			電子情報学	電子情報学	28名
知能機械情報学			知能機械情報学	知能機械情報学	24名
創造情報学	数学 または、 プログラミング		創造情報学	創造情報学	29名 そのうち 若干名を 本研究科 他専攻合 格者より 振り替え で受け入 れる。

備考1) 口述試験は、筆記試験科目に関して行う。

- 2) 数理情報学専攻、システム情報学専攻及び創造情報学専攻については、他専攻の専門科目で受験できる場合もあるので各専攻の入試案内書を参照すること。
- 3) 創造情報学専攻では、情報システム創造や専門科目に関して顕著な実績を有する場合には、それに関する書類を提出することにより、筆記試験が免除される場合がある。創造情報学専攻の入試案内書を参照すること。
- 4) 英語試験に替えて提出するTOEFL成績は、Official Score Report 1通とする。提出方法等の詳細は、折り込みの「平成30(2018)年度東京大学大学院情報理工学系研究科TOEFL成績提出要項」を参照すること。

5. 出願手続

(1) 出願は郵送に限る。郵送にあたっては、「提出書類等」を一括して所定の封筒に入れ、書留郵便とすること。

(2) 受付期間

①夏入試

平成29(2017)年6月22日(木)から6月28日(水)

(ただし、6月28日(水)までの消印があり、かつ6月30日(金)までに到着したものまで有効)

②冬入試

平成29(2017)年12月11日(月)から13日(水)

(ただし、12月13日(水)までの消印があり、かつ12月15日(金)までに到着したものまで有効)

(注) 文部科学省奨学生等の外国人については、専攻により平成30(2018)年2月に外国人特別選抜試験を行う場

合があるので、希望者は平成29(2017)年10月以前に詳細を各専攻事務室に問い合わせること。

(3)あて先 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
 東京大学大学院情報理工学系研究科入試担当
 電話 03-5841-7926

※ウェブページアドレス <http://www.i.u-tokyo.ac.jp/>

6. 提出書類等

書 類 等	提 出 者	摘 要
*入学願書	全員	出願3か月以内に撮影したカラー写真を3枚貼ること。
成績証明書	全員	学部(教養課程を含む)の成績を証明するもので原本を提出。
TOEFL成績提出票	全員	TOEFL成績提出票およびTOEFL成績(Official Score Report)の提出方法については折り込みの「平成30(2018)年度東京大学大学院情報理工学系研究科TOEFL成績提出要項」を参照すること。
研究計画書	官公庁在職者で、在職のまま 在学を希望する者	A4判任意用紙4枚程度にまとめたもの。
検定料	全員(日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く。ただし、本学に在学中(研究生を含む)の者以外は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書を提出すること。)	30,000円 銀行振込もしくはコンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込に限る。 なお、いずれの場合においても、振込手数料又は払込手数料は、出願者本人の負担となるので留意すること。 ①銀行振込の場合 所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行不可)から振り込むこと(ATM、インターネット等は利用しないこと)。 振り込みの際、振込金受取書(B票)及び振込金受付証明書(C票)を受け取り、振込金受付証明書(C票)を入学願書(正)の裏面の所定欄に貼り付けること。振込金受取書(B票)は領収書なので、大切に保管すること。 ②コンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込の場合 折り込みの「東京大学大学院情報理工学系研究科コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法」を参照すること。
*返信用封筒3通 (所定のもの)	全員	封筒には全て本人の宛名等を記入すること。 受験票送付用封筒のみ372円切手を貼ること。
出身大学の卒業証明書	既に大学を卒業している者 (出願時卒業見込みの者は不要)	原本を提出。
*日本語能力申告書	外国人(日本の大学を卒業した者を除く)	所定の様式に記入すること。

(注1)日本語又は英語以外で書かれた証明書、文書、資料等には、日本語訳を添付すること。

(注2)*印は、所定用紙を使用すること。

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 夏入試

①合格者は、平成29(2017)年9月4日(月)15時頃、本研究科掲示板に掲示する。

②試験の結果及び入学許可は、平成29(2017)年9月上旬本人宛に通知する。

(2) 冬入試

試験の結果及び入学許可は、平成30(2018)年2月下旬本人宛に通知する。

(3) 入学許可の通知を受けた者は、その際送付される入学手続に関する指示に従い、平成29(2017)年9月入学者は、平成29(2017)年9月14日(木)・15日(金)に、また、平成30(2018)年4月入学者は、平成30(2018)年3月7日(水)から9日(金)に必要な手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。この期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

(4) 平成29(2017)年9月入学者については、入学許可及び入学手続の通知を9月上旬に行う。

(5) 入学時に必要な経費(平成30(2018)年度)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)

①入学料 282,000円

②授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)

(注1)9月入学者は入学年度に312,550円(9月～3月：年額の12分の7)の納付となり、標準修業年限による修了見込年度は223,250円(4月～8月：年額の12分の5)の納付となる。

(注2)上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

8. 学生支援制度

本研究科の学生支援制度については以下のURLを参照すること。

<http://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/financial-support/>

9. 注意事項

(1) 本研究科の同一期(夏入試又は冬入試)の入学試験においては、同時に2つ以上の専攻に出願することはできない。

なお、本研究科の夏入試の入学試験に既に合格している者は、入学(合格)を辞退することなく、冬入試に出願することはできない。

また、他大学及び本学他研究科等と重複して入学することはできない。

(2) 提出期限までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。ただし、TOEFL成績については折り込みの「平成30(2018)年度東京大学大学院情報理工学系研究科TOEFL成績提出要項」のとおりとする。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、検定料の払い戻しはしない。

(3) 「受験票」は、出願者本人に郵送する。

①夏入試では、平成29(2017)年7月21日(金)までに到着しない場合は、必ず本研究科入試担当(上記5.(3))に連絡し、受験に必要な指示を受けること。

②冬入試では、平成30(2018)年1月9日(火)までに到着しない場合は、必ず本研究科入試担当(上記5.(3))に連絡し、受験に必要な指示を受けること。

(4) 本研究科においては、平成30(2018)年4月入学のほかに、専攻によっては、平成29(2017)年9月

入学を認めることがある。平成29(2017)年9月入学を希望する者は、当該専攻事務室に申し出た上で、入学願書にその旨記入すること。また、その場合は出願資格(上記1. (1)～(6))の「平成30(2018)年3月31日」を「平成29(2017)年9月21日」に読み替えること。なお、平成29(2017)年9月22日から9月30日までの間に出願資格(1)から(6)のいずれかを満たす者にも出願を認めることがあるので、該当者は事前に問い合わせること。

- (5) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願時に本研究科入試担当(上記5. (3))に申し出ること。
- (6) 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」による、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (7) 官公庁、企業及び団体等に在職のまま大学院に入学しようとする者は、入学手続の際に、在学期間中学業に専念させる旨の勤務先の所属長の承諾書(様式任意)を提出すること。
- (8) 事情によっては、出願手続及び試験期日等について、変更することもある。
- (9) 出願手続後は、どのような事情があっても、書類の返却はしない。
- (10) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- (11) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (12) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (13) 入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (14) 災害等により不測の事態が発生した場合、入試に関する情報提供は、本研究科Webサイト等で行うので注意すること。

平成29(2017)年4月